

報道発表資料の配付日時

9月2日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(令和3年度補正予算)の配分状況等について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、本道酪農・畜産の生産基盤の強化に加え、農家が抱える高齢化や労働力不足等の課題に対応するため、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(以下「畜産クラスター事業」という。)の活用により、規模拡大や営農支援組織の強化、省力化機械の導入を推進しているところです。</p> <p>この度、令和3年度補正予算に係る畜産クラスター事業の計画承認額の状況を別紙のとおり取りまとめましたのでお知らせします。</p> <p>※ 畜産クラスター事業は、TPP11協定や日EU・EPA、日米貿易協定の発効による国際化の進展を背景に、畜産農家の収益力や生産基盤を強化することを目的に創設された補助事業であり、規模拡大に伴う畜舎整備や生産性向上のためのスマート農業技術の導入、地域の経営資源の円滑な継承などの取組を支援しています。</p>		
参考	別紙 令和4年度 畜産・酪農収益力強化当特別対策事業(令和3年度補正予算)の要望及び配分状況等について		
報道(取材)に当たってのお願い	本事業の効果的な活用を広く周知するため、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	農政部生産振興局畜産振興課 (担当者: 村瀬、佐々木、前川) TEL ダイヤルイン 011-204-5438 内線 27-763		

令和4年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業
(令和3年度補正予算)の要望及び配分状況等について

令和4年(2022年)9月2日
農政部生産振興局
畜産振興課

1 事業概要

- 国は、TPP11協定や日EU・EPA、日米貿易協定の発効による国際化の進展を背景に、畜産農家の収益力や生産基盤を強化することを目的に平成26年度補正から畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を創設。
- 本事業では、地域の関係者等で構成する畜産クラスター協議会に対し、規模拡大等に伴う畜舎整備(施設整備事業)や省力化機械等の導入(機械導入事業)などを支援しており、国は令和3年度補正予算において、617億円(所要額)を措置。
- 今回の補正予算から平成29年度補正予算から措置されていた国産チーズ振興枠が廃止され、新たに国産飼料の増産等を目的とした飼料増産優先枠が創設。

2 道の要望に対する配分等状況

(1) 施設整備事業

(百万円)

振興局等	要望状況			配分状況		
	件数	事業費	要望額	件数	補助金	うち飼料増産優先枠
上川	2	1,250	499	2	499	-
釧路	5	5,112	2,281	5	2,281	-
根室	10	5,040	2,199	10	2,199	-
全道	10	867	397	10	397	-
合計	27	12,268	5,377	27	5,377	-

※上記数値はいずれも通常枠

(2) 機械導入事業(基金分)

- (公社)中央畜産会は、本年3月～6月にかけて機械導入に係る要望調査を実施。
- (一社)北海道酪農畜産協会を通じて[88協議会・83.5億円]の要望を提出し、農林水産省及び(公社)中央畜産会は[88協議会・83.5億円]の計画に対し配分を決定。